

信頼性・可用性を備え、お客様のオフコン資産を確実に継承する 基幹IAサーバ「PRIMEQUEST」

メインフレームクラスの信頼性・可用性を備えた基幹IAサーバ「PRIMEQUEST 1000シリーズ」

PRIMEQUEST 1000シリーズは、Intel® Xeon® プロセッサをはじめ、Linux®、Windows Server®といった業界標準のオープン・アーキテクチャをベースに、富士通がメインフレームで培ったノウハウ、テクノロジーを結集したオープン・ミッションクリティカルサーバです。

業務停止の極少化

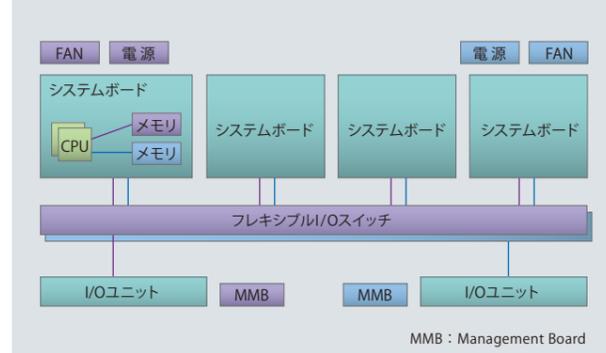
PRIMEQUEST 1000シリーズは、プリント板の種類を従来モデルの30種から14種に削減するとともに、総部品点数を約20%削減。厳しい部品スクリーニング(選別)や組み立て後の製品検査との相乗効果により、装置自体の高品質・高信頼性を確保しています。

さらに、メモリのミラーリングに加え、電源ユニット、冷却ファン、サーバ管理専用ユニット(MMB)などの内部コンポーネントを徹底的に冗長化した高可用テクノロジーの適用により、ハードウェアレベルで高い連続運転性を実現しました。

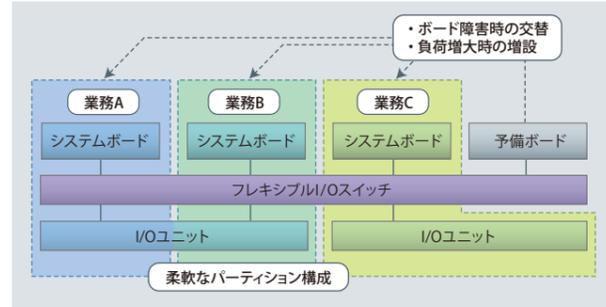
また、サーバを停止することなく故障箇所を修理・交換できる活性保守機能もサポートしています。

オープンサーバの概念を超えるメインフレームクラスの信頼性を提供し、お客様ビジネスの継続性を守ります。

●メモリミラーリング、内部コンポーネントの冗長化



●フレキシブルI/O、予備システムボード、パーティション機能



業務停止時の迅速な復旧

CPUやメモリを搭載するシステムボードと、PCIカードや外部インターフェースを搭載するI/Oユニットとの自由な組み合わせを実現する機能「フレキシブルI/O」。サーバ内に予備のシステムボードを搭載しておくことで、万が一運用中のシステムボード自体に障害が発生した場合でも、当該の業務システム(パーティション)は、自動で予備ボードへ交替。OSリポートとアプリケーション動作確認のみの短時間で業務サービスを復旧できます。

本機能は、お客様の求める信頼性要件によっては、設計・構築・運用が比較的複雑で高コストとされているクラスシステムからの代替手段としても有効です。

基幹IAサーバ「PRIMEQUEST」上でASPシステムを複数稼働

「PRIMEQUEST 1000シリーズ」ではASP動作機構の搭載により、富士通のオフコン「PRIMERGY 6000」の専用OSである「ASP」と、同OSに対応したデータベース「Symfoware6000」などの各種ソフトウェアやアプリケーションがそのまま稼働します。

ASP動作機構

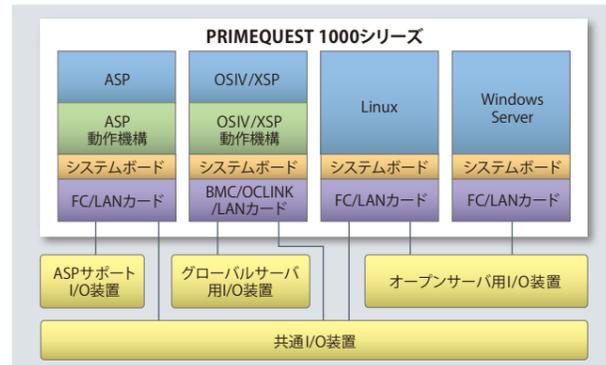
PRIMEQUEST上でASPシステムを稼働させる際に必要となるハードウェア機構です。CPUとOS間のファームウェアレイヤに位置し、ASPを仮想化することで、複数のASPを稼働できます。ASPシステムや業務アプリケーションのデータは高信頼・高性能なETERNUSに配置します。

ASP動作機構は、オフコンの性能に応じてラインナップしており、ASPシステムが占有するシステムボード、CPU、メモリ、ディスクなどのハードウェアをセット化し、「ASP動作機構キット」としてご提供します。PRIMEQUEST 1400S2、同1400E2、同1800E2に搭載できます。

●ASP動作機構の役割



●ASPシステムとOSIV/XSPシステム、オープンシステムの並行稼働



パーティション機能を活用し、PRIMEQUEST上でASPシステムとオープンシステム(Linux®/Windows Server®)、グローバルサーバのOSIV/XSPシステムを並行稼働できます。パーティションで区切ることで、ASPシステム以外のシステムから影響を受けることなくASPベースの基幹アプリケーションを安全・確実に稼働できます。

また、システムのオープン化に伴い、ASPシステムを稼働させていたCPUやメモリをオープンシステム向けに転用できるため、投資の最適化を図ることができます。

「ASP動作機構」のラインナップ

移行元となるオフコンのモデル(処理能力)や台数に応じて、多様な移行パターンをご提案します。

PRIMEQUEST 1400S2 ASP動作機構キット

PRIMERGY 6000ミッドレンジ相当の「ASP動作機構キット」です。最大2パーティションまで構築できるPRIMEQUEST 1400S2では、例えばASPシステム(1台のオフコン)とオープンシステムを、PRIMEQUEST 1台に集約・統合できます。

PRIMEQUEST 1400E2/1800E2 ASP動作機構キット

性能別に8種類の「ASP動作機構キット」をラインナップしています。同キットを複数個導入し、複数のASPシステム(複数台のオフコン)をPRIMEQUEST 1台に集約・統合する場合や、多数のオープンシステムやOSIV/XSPシステムとともにASPシステムをPRIMEQUEST 1台に集約・統合する場合などに適しています。

●「ASP動作機構」のラインナップ



オフコン資産を継承

オフコン資産をPRIMEQUEST上のASPシステムで継承できます。

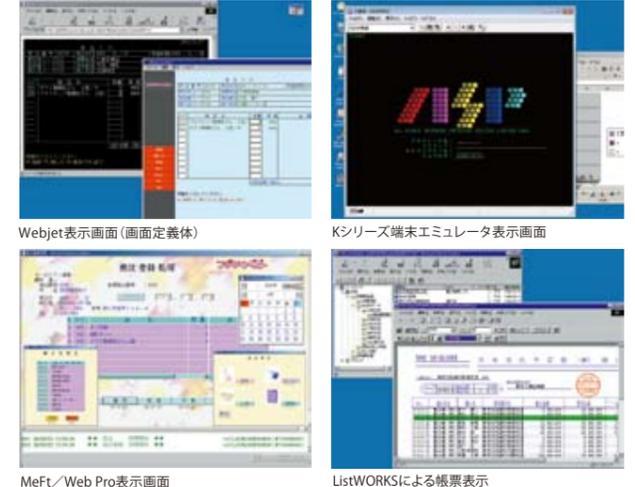
COBOLアプリケーション

PRIMERGY 6000のオペレーティングシステムASPで動作しているCOBOLアプリケーションが再コンパイルなしに動作します。PRIMERGY 6000で稼働していたデータベース、画面定義体や帳票定義体などのプログラム資産を活用いただけます。

端末業務・帳票業務

PRIMERGY 6000と接続したFMVシリーズでKシリーズ端末エミュレータやWebjet、MeFt/Web Proをこれまでと同様な操作性でお使いいただけます。また、帳票を電子化して活用できるSystemwalker ListWORKもこれまでと同様な操作性でお使いいただけます。

●オフコンの業務を継承



周辺装置や回線接続

印刷業務にはPS5000シリーズ/VSPシリーズやXLシリーズ/FMPRシリーズのプリンタをお使いいただけます。また、ETERNUSディスクアレイをASPディスク装置として利用できます。さらに、ASP専用の「通信制御カード」により、FNA手順や全銀手順、JCA手順で回線と接続できます。

●オフコンの周辺装置をサポート



PRIMEQUESTのサーバ管理専用ユニットを活用し、各種コンソールを統合することもできます。

サーバ管理専用ユニット MMB

PRIMEQUESTに標準で内蔵される、ハードウェアの構成管理や障害監視などを行うユニットです。同ユニットに管理LAN経由で接続したリモートPCで、オープンパーティションはもちろんのこと、ASPパーティション(ASP動作機構を含むハードウェア)も管理・監視できます。また、「ASP動作機構マネージャー」でASPシステムの作成・削除や起動・停止に加え、PRIMEQUEST 6000のオペレーターパネル操作をWebブラウザで行えます。

●PCによるコンソール統合

